

大根占小学校で認知症をテーマに講演会 制限ではなく自立をサポートして

39歳で若年性認知症を発症しながらも、認知症に対する普及啓発活動を行う丹野智文さんを講師に招き、大根占小学校で講演会が行われました。4年から6年の児童84名が参加して対話形式で進行。「心配や制限をするのではなく自立を支えることが大切。友達と支え合える関係を築いて」とメッセージを贈りました。



来校前からオンラインや手紙で交流していた児童たち。認知症当事者としてのリアルな声に児童は真剣な眼差しで聞き入っていました。

立ち直りを支え再スタートできる社会へ 大根占保護司会がメッセージ伝達

犯罪や非行のない社会を目指す「社会を明るくする運動」の内閣総理大臣メッセージを6月29日、大根占保護司会が町長に伝達しました。今年で71回目となる地域の支え合い運動。会長を務める貫見広幸さんは「幅広い世代や分野の方に活動を知ってもらい、互いに支え合える社会を目指したい」と決意を込めました。



活動拠点の更生保護サポートセンターを役場田代支所2階に設置。毎週月・水・金の9時から16時まで開設し、会員16名で運営中。

展示初日は田代小3年生と6年生が駆け付け、展示前のトーチを特別に触らせてもらいました。展示期間中は触れることはできません。



東京五輪聖火リレー参加の姫ヶ迫さん 聖火リレーのトーチを特別展示

聖火リレーに参加した姫ヶ迫あかりさんが使用したトーチの展示が6月21日から役場田代支所で始まっています。トーチを見てみたいと多くの声を受けて企画された今回の特別展示では、実際に着用した五輪ジャージのほか、応援ボードや写真パネルも設置。支所で7月16日まで、本庁で翌日から7月末まで設置予定。

病院施設の老朽化による多額の改修費や、土砂災害警戒区域に指定される立地などが問題視され、早期の移転建替えが求められています。



基本構想ベースに基本計画の策定進める 肝属郡医師会立病院の移転再整備

建築後40年以上が経過し老朽化が進む、肝属郡医師会立病院の移転再整備に向けた基本計画策定委員会を6月24日に立ち上げ、委員15名に委嘱状が交付されました。同委員会は今年3月に策定された基本構想を基に新病院の建設地や施設の規模、目指す病院像など検討を進め、年内の基本計画策定を目指します。

梱包代や送料もすべて白玉醸造(株)が負担して寄付者へ届けられます。発送初日は町長が感謝状を贈り、一升瓶20本が白玉醸造社員からドライバーへ手渡されました。



肝属地区体育大会の陸上競技に参加 代表として全力で挑んだ49人

ジャパンアスリートトレーニングセンター大崎で開催された肝属地区陸上大会に、錦江町代表の小学生49人が出場しました。800mでは馬庭花音さんが、走り幅跳びでは鶴園由羽さんがそれぞれ1位に輝くなど活躍。選抜された子どもたちは本番を前に2度の合同練習にも参加し、切磋琢磨しながら互いの交流も深めました。



気温も湿度も高いなか、持てる力のすべてを發揮した子どもたち。馬庭花音さんは大会新記録までわずか0.5秒という好記録でした。

目の前で採取した車の排気ガスに試薬を混ぜて色の変化を見る実験。大気汚染の原因となる二酸化炭素や窒素が含まれることを体感した。



田代中学校で環境問題を考える授業 実験を通じて身近な問題に触れる

6月8日、田代中で県主催による環境教育授業が行われました。県環境保全課や環境検査センターの職員が講師を務め、大気や水質汚染をテーマに講話と実験が行われ全校生徒37名が受講。醤油や砂糖を使った模擬生活排水に試薬を混ぜる実験では、身近な生活排水が川や海に及ぼす影響について理解を深めました。

ふるさと納税通じて全額寄付 焼酎「魔王」300本を提供

白玉醸造(株)から焼酎「魔王」の一升瓶300本がふるさと納税返礼品として寄付され、初回発送となる魔王20本が6月10日に寄付者へ送られました。ふるさと納税サイト掲載後わずか7日で完売した錦江町を代表する人気商品で寄付総額は480万円。同社の柗木優加子取締役は、「教育環境の整備や子育て支援など子どもたちのために活用してほしい」と期待を寄せました。